

吸引装置  
S-101V

取扱説明書

## ご使用前に

- 本製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は手近なところに大切に保管し、必要な時にいつでも取り出せるようにしてください。
- 製品本来の使用方法及び取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。
- 本書の安全に関する指示に対しては指示内容をご理解の上、必ず守ってください。
- 説明書に従わない誤った取扱いをすると、人が死亡したり、傷害を負う可能性があります。又は物的損害が発生する可能性があります。

## 安全上の注意

### 警告・注意・禁止・厳守事項



本装置を可燃性ガス発生源の近くで使用しないでください。引火による火災が発生し火傷や死亡事故に至る危険があります。



臭気・有毒性のあるものを取り扱う場合は換気を十分に行ってください。  
爆発や中毒を起こす恐れがあります。



廃液を処理する場合は、必ず適切な方法で処理してください。  
そのまま排水すると汚染の原因となります。



廃液は吸引ピンの指示線以上吸い込ませないでください。  
廃液が外部に漏洩し、重大な傷害を負うか死亡事故に至る恐れがあります。



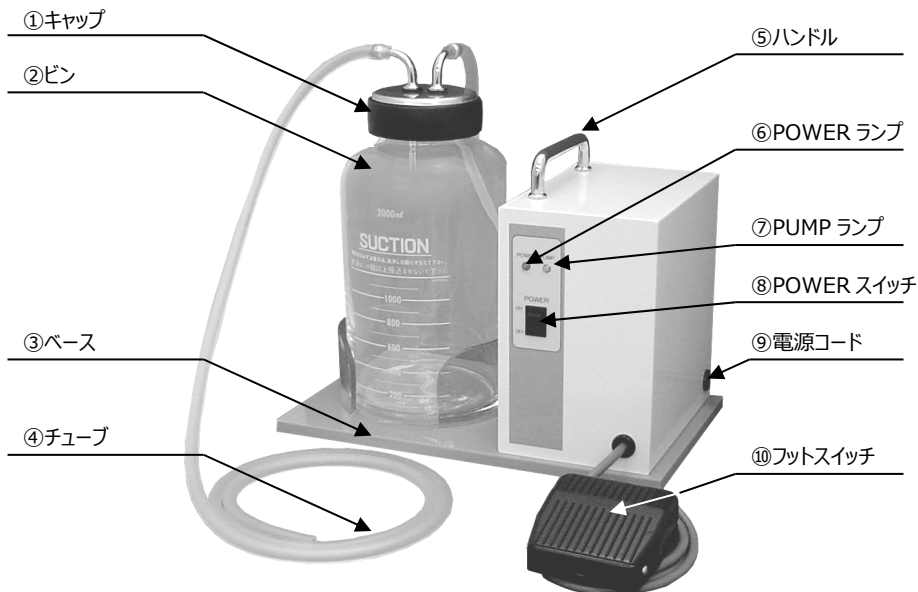
交流 100V 以外では使用しないでください。  
火災により火傷したり、感電して怪我をする恐れがあります。



電源プラグを抜く時は、必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。感電やショートにより発火し、火災や怪我をする恐れがあります。

上記の指示に必ず従ってください。いずれも重要な事項であり、取扱いを誤ると人的傷害や物的損害などの重大な事故が生じる可能性があります。危険性及び使用方法を理解していない方が操作することの無いようご注意ください。

## 各部の名称



No.	名称	備考
①	キャップ	チューブを接続します。IN と OUT にご注意ください
②	ピン	廃液を溜めておくピンです 容量にご確認ください
③	ベース	ピンを設置するためのホルダーです
④	チューブ(2m)	カットしてお使いください
⑤	ハンドル	キャリング用ハンドルです
⑥	POWER ランプ	POWER スイッチ ON のときに点灯します
⑦	PUMP ランプ	フットスイッチを踏んでいる間点灯します
⑧	POWER スイッチ	メインスイッチです
⑨	電源コード	100V 電源コードです アース付コンセントに接続してください
⑩	フットスイッチ	踏んでいる間のみ吸引します

- キャップ、ピン、チューブは単体でも販売しています。
- ポンプ部の交換修理も可能です。
- ピン及びチューブは 121℃×20 分及び 132℃×15 分でのオートクレーブが可能です。それ以上の温度には上げないでください。
- チューブ内径はφ6 ミリです。必要に応じて異径アダプターをご用意ください。

## セットアップ手順

■接続対象によりセットアップ手順が異なります。

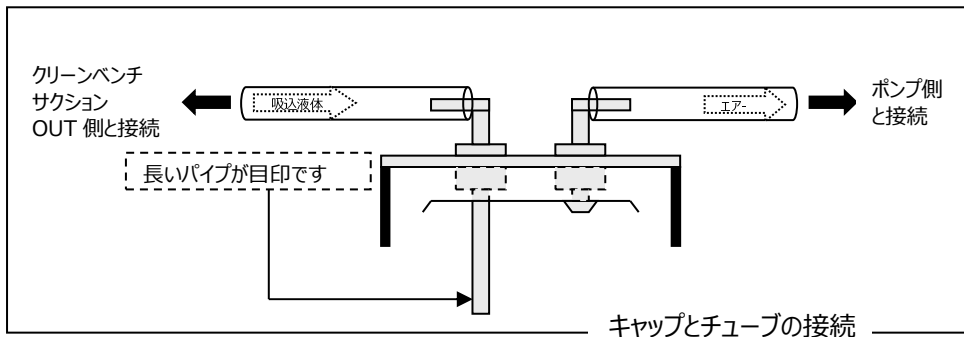
- クリーンベンチと接続して使用する場合は、当頁の「セットアップ手順【1.クリーンベンチと接続して使用する場合】」を参照してください。
- クリーンベンチと接続しないで単体で使用する場合は、次頁の「セットアップ手順【2.単体で使用する場合】」を参照してください。
- クリーンベンチにて使用するもののクリーンベンチの配管を使用しない場合も、次頁の「セットアップ手順【2.単体で使用する場合】」を参照してください。

注意) 接続方法を間違えると故障の原因となります。

## セットアップ手順【1.クリーンベンチと接続して使用する場合】

■ピンのセットアップについて

- ピン(②)にキャップ(①)を取り付ける
- ピン(②)をベース(③)に取り付ける
- キャップ(①)にチューブを取り付ける⇒下図参照



備考：チューブ内径はφ6ミリです。クリーンベンチのホース口径にチューブ内径が適合しない場合は、異径アダプターもしくは適合するチューブをご用意ください。

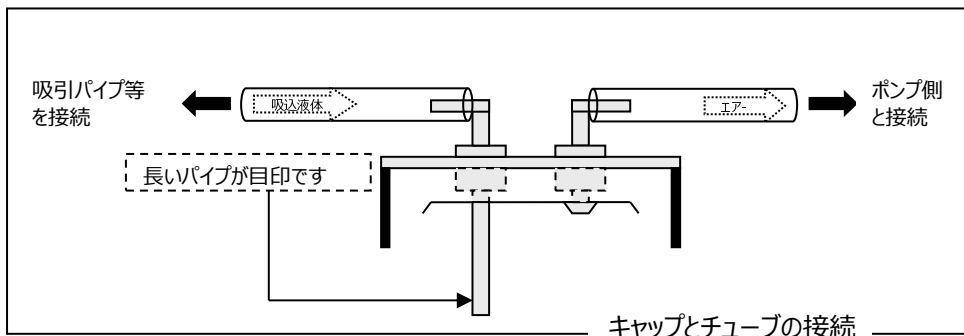
■ポンプのセットアップについて

- 吸引装置を適当な位置にセットする
- チューブをクリーンベンチの OUT 側サクション口に取り付ける
- フットスイッチ(ⓐ)を適切な位置に置く
- 電源プラグをコンセントに接続する

## セットアップ手順 【2.単体で使用する場合】

### ■ピンのセットアップについて

- ピン(②)にキャップ(①)を取り付ける
- ピン(②)をベース(③)に取り付ける
- キャップ(①)にチューブを取り付ける⇒下図参照



備考：チューブ内径はφ6 ミリです。

### ■ポンプのセットアップについて

- 吸引装置を適当な位置にセットする
- フットスイッチ(⑩)を適切な位置に置く
- 電源プラグをコンセントに接続する

## 使用方法 【共通】

- 上記「セットアップ手順」の項に基づき、すべての部材が正しく取り付けられているか再度確認する
- ピン内の廃液が廃棄されているか、あるいは空き容量がこれから吸引する量に適切であるかを確認する
- POWER スイッチ(⑧)を ON にして POWER ランプ(⑥)が点灯しているか確認する
- 【クリーンベンチと接続して使用する場合】クリーンベンチ作業室内のサクションコックを開く
- フットスイッチ(⑩)を踏み正しく動作しているか確認する
- 正しく動作していることが確認できたなら使用可能です

---

---

## 使用後のお手入れ

---

---

- ご使用後は必ずアルコールや水などを十分吸引してチューブ内を消毒又は洗浄してください
- POWER スイッチを OFF にしてください
- 【クリーンベンチと接続して使用する場合】クリーンベンチのサクシジョンコックを閉じてください
- ポンプの電源プラグを抜いてください
- ビン内の廃液を適切な方法で処理してください

---

---

## こんなときは・・・

---

---

異常が生じた場合は以下の点を確認してください

### ■フットスイッチを踏んでも吸引しない

- 電源プラグは正しくコンセントに接続されていますか
- POWER スイッチは ON になっていますか
- 全てのチューブは正しく接続されていますか
- 【クリーンベンチと接続して使用する場合】クリーンベンチのサクシジョンコックは開いていますか
- チューブは折れたり目詰まりしたりしていませんか
- 吸引ビンのキャップは緩んでいませんか

### ■吸引中にポンプが停止する

- 電源プラグは正しくコンセントに接続されていますか
- 【クリーンベンチと接続して使用する場合】クリーンベンチのサクシジョンコックは開いていますか
- チューブは折れたり目詰まりしたりしていませんか

### ■吸引力が低下する

- 全てのチューブは正しく接続されていますか
- 【クリーンベンチと接続して使用する場合】クリーンベンチのサクシジョンコックは全開になっていますか
- チューブは折れたり目詰まりしたりしていませんか

上記の点検を行っても原因が特定できない場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所までお問合せください。

## 仕様

型式	S-101V	
本体	寸法	W300×D180×H300 mm
	材質	ケース：スチールt1.0 mm・焼付塗装，ベース：塩ビ t10 mm
	性能	空気量：12/14 ℓ/min，最高吐出圧力：0.10 MPa，真空度：24.00 kPa[絶対] 入力：42/42 W，出力：10 W，電源：AC100V・50/60Hz・0.50/0.44 A
	チューブ	特殊配合塩化ビニール，φ6×φ10×2m
	備考	キャリングハンドル・電源コード・フットスイッチ付属
ピン&キャップ	寸法	φ128×H280 mm
	材質	ピン：ガラス，キャップ：真鍮メッキゴム
	容量	全容量：2000 ml，規定満水量：1200 ml

- キャップ、チューブ、ピンは単体でも販売しています。予備や追加としてもご購入できます。
- ピン及びチューブは 121℃×20 分及び 132℃×15 分でのオートクレーブが可能です。
- チューブ内径はφ6 ミリです。必要に応じて異径アダプターをご用意ください。

## 保証サービスについて

- 保証期間は納入日から 1 年間です。
- 保証期間中に、正常なご使用にもかかわらず故障や破損が発生した場合には、故障又は破損箇所を無料で修理させていただきます。
- 以下の原因による故障や破損の修理及び消耗品の交換は有料とさせていただきます。
  - ① 保証期間満了後の故障，破損
  - ② 正常でないご使用又は保管による故障，破損
  - ③ 弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障，破損
  - ④ お客様ご自身での修理及び改造による故障，破損
  - ⑤ 火災・天災・地変等の災害及び不可抗力による故障，破損
- 取り扱い流体の化学的もしくは流体的腐食，液質による異常及び故障に対しては弊社で保証致しかねます。選定した材質については、推薦できる材質を意味し、その材質の耐蝕性等を保証するものではありません。
- ご使用中に発生した故障に起因する諸費用及びその他の損害の補償は致しかねます。

## 修理について

- ご使用中に異常を感じたときは直ちに運転を中止して故障が否かを点検してください。
- 修理のご依頼は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所までご連絡ください。
- 修理をご依頼される前に、再度この取扱説明書をお読みになり点検してください。
- 修理をご依頼される場合には、型式、製造番号、故障箇所と状態をお知らせください。

発売元

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 3-21-41

**株式会社 三商**

URL : <http://www.co-sansyo.co.jp>

製造元

〒125-0061

東京都葛飾区亀有 4 丁目 28 番 7 号

**昭和科学株式会社**

TEL: 03-3604-6677, FAX: 03-3604-6764

URL : <http://www.showa-science.co.jp>